

やってみよう

ディープラーニングの画像合成を使ってみよう

画像処理技術の向上により、写真や絵画を使った画像生成ができるサービスが登場しています。画像生成にはさまざまなスタイルがありますが、誰でも簡単に利用でき、ディープラーニングのイメージが簡単に掴めるものが「Deepart (<https://deepart.io/>)」です。

ディープラーニングの黎明期に登場したサービスで、2枚の画像を用意すればそれに合わせて画像を加工してくれます。基本的には写真とイラストを組み合わせ、写真を「イラスト（絵画風）」にするといったものです。

素材を自由に組み合わせる

使う画像は写真やイラストでなくても構わず、イラスト同士を組み合わせることもできます。もちろん、想定されたとおりに風景や動物の画像に絵画を組み合わせれば、それだけでアーティストの作品と見紛うような作品ができあがるでしょう。

画像生成・合成系のサービスはこの他にもたくさんあります。文章から画像を生成する「Hypnogram (<https://hypnogram.xyz/>)」や自動でアニメキャラクターを生成する「This Anime Does Not Exist (https://thisanimedoesnotexist.ai/index_jp.html)」なども簡単に使える興味深いサービスの1つです。